

輸液用電解質液(開始液)

処方せん医薬品^{注)}

日本標準商品分類番号

873319

貯法：室温保存
 使用期限：外箱、ラベルに表示(使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること)

ソリタ[®]-T1号輸液
SOLITA[®]-T No.1

	200mL	500mL
承認番号	22000AMX00058	22000AMX00058
薬価収載	2008年6月	2008年6月
販売開始	1963年4月	1962年2月
再評価結果	1978年3月	

注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

[禁忌] (次の患者には投与しないこと)

乳酸血症の患者
 [乳酸血症を増悪するおそれがある。]

[組成・性状]

1. 組成

本剤は下記の成分を含有する。

成分	1本(200mL)中	1本(500mL)中
塩化ナトリウム	0.828g	2.07g
L-乳酸ナトリウム	0.448g	1.12g
ブドウ糖	5.2g	13.0g

添加物	1本(200mL)中	1本(500mL)中
L-乳酸(pH調節剤)	適量	適量

熱量：21kcal(200mL中)、52kcal(500mL中)

電解質濃度(mEq/L)

Na ⁺	Cl ⁻	L-Lactate ⁻
90	70	20

2. 性状

本剤は無色～微黄色澄明の液である。

pH	浸透圧比*
3.5～6.5	約1

*生理食塩液に対する比

剤形：水性注射剤

3. 製剤的事項

本剤に使用のプラスチックボトルの規格は次のとおりである。

	プラスチックボトル混注量
200mLプラスチックボトル	約20mL
500mLプラスチックボトル	約60mL

(通気針なしで75cmの落差で薬液を注入した時)

[効能・効果]

脱水症及び病態不明時の水分・電解質の初期補給
 手術前後の水分・電解質の補給

[用法・用量]

通常成人、1回500～1000mLを点滴静注する。投与速度は通常成人1時間あたり300～500mL、小児の場合、1時間あたり50～100mLとする。

なお、年齢、症状、体重により適宜増減する。

[使用上の注意]

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- (1)腎疾患に基づく腎不全のある患者
 [水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (2)心不全のある患者
 [水及びナトリウムの負荷により心不全が増悪するおそれがある。]
- (3)重篤な肝障害のある患者
 [水・電解質異常、血中乳酸値の上昇を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (4)閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者
 [水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]
- (5)糖尿病の患者
 [血糖値の上昇、水・電解質異常を起こす、又は増悪するおそれがある。]

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
大量・急速投与	脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫

3. 高齢者への投与

一般に高齢者では、生理機能が低下しているため、減量するなど注意すること。

[取扱い上の注意]

- (1)容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。
- (2)通気針は不要である。(混注する薬剤量等により通気針が必要となる場合がある)
- (3)薬液量が少なくなると排液速度が遅くなるので、滴下速度に注意すること。
- (4)容器の目盛りは目安として使用すること。
- (5)混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部(凹部)を使用し、まっすぐ刺し入れること。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
- (6)輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部(凹部)にまっすぐ刺し入れること。
- (7)連結管による混合投与の場合はY字管連結にして使用すること。(U字管連結はしないこと)

[包装]

200mL×20本(プラスチックボトル)
 500mL×20本(プラスチックボトル)

[文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室
東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号
☎ 0120-647-734

製造販売元

エイワイファーマ株式会社
東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

販売元

 **株式会社 陽進堂**
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号

業務提携

味の素製薬株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号

